



1987

JOLYX 復刊第5号

as
y, out
them to
subsidiaries
business.
notice of
through
finance
ational
the U.S.
and the
of New
ive ben
ness in
ries, in
ity of 50
branch

provide
J.S. and

ethics.

The prob
success who
suggest

F
cili
hole
reg
fall of

1 Kyoto
plan to
ile and
er
Strategy
ters, the symposium
NTT

NT Seminar

Nippon Tel
phone Com
internal
Tokyo in
"Pattern
nal Pro
nal

success who
suggest

he
prob
success who
suggest

F
cili
hole
reg
fall of

er
Strategy
ters, the symposium
NTT

「毎日毎日がまん強く自分から善いことをするように心がけているならば、いつかきっと習慣になる。そして、たとえ、小さな事でも、たくさんの方ができるということがあつてくるであろう。」

自分から善いことをするように心がけるといふことは簡単のようでいて以外と難しいものです。それを毎日となると本当にがまん強くなれば困難なことなのかもしません。けれども、自分から善いことをすることを習慣とし、小さな事でも、たくさんの善行ができるということを理解するのはすばらしくいいことであり、大切なことではないでしよう

ン・パウエル卿（B.P.）の言葉を少し紹介してみます。

今回ここでまた、みなさん御存知のベーディング・オペル卿（B.P.）の言葉を少し紹介

IB
ats Pa

ts Pa
this package directly
ate users and not through
ventional retail channels
e Mercury accounts pa
is made up of five integ
modiles: general ledg
counts payable, accou
able, inventory control a
manager.

C user has designa
nt of accounts and
the appropriate acco
bers, all entries are pos
the general ledger through
es in the daily accou
nual.

accounts payable a
modules. We spec
on or cash flow
ut country such
payments

out
1930
1920
1910
1900
1890
1880
1870
1860
1850
1840
1830
1820
1810
1800
1790
1780
1770
1760
1750
1740
1730
1720
1710
1700
1690
1680
1670
1660
1650
1640
1630
1620
1610
1600
1590
1580
1570
1560
1550
1540
1530
1520
1510
1500
1490
1480
1470
1460
1450
1440
1430
1420
1410
1400
1390
1380
1370
1360
1350
1340
1330
1320
1310
1300
1290
1280
1270
1260
1250
1240
1230
1220
1210
1200
1190
1180
1170
1160
1150
1140
1130
1120
1110
1100
1090
1080
1070
1060
1050
1040
1030
1020
1010
1000
990
980
970
960
950
940
930
920
910
900
890
880
870
860
850
840
830
820
810
800
790
780
770
760
750
740
730
720
710
700
690
680
670
660
650
640
630
620
610
600
590
580
570
560
550
540
530
520
510
500
490
480
470
460
450
440
430
420
410
400
390
380
370
360
350
340
330
320
310
300
290
280
270
260
250
240
230
220
210
200
190
180
170
160
150
140
130
120
110
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0

A. Sugihara / A-team

教会員のおはなし

スマイルは語る

第一回 高塚 勝先生

和歌山県田辺市の郊外に「天神崎」という景勝地があり、最近National Trustとして北海道の知床と同様国民財産のひとつになりました。干潮時には素晴らしい岩床が露出し得難い海浜生物の生息地です。十年程前この「天神崎」の手前一帯が民間業者により宅地開発されることになり、海浜の汚濁と微生物・海洋生物の絶滅の危機が叫ばれました。田辺教会の方々が「自然を大切にする会」をつくり、数億円の募金を完遂してついに国民財産の認定に至りました。

世界でも稀有のB.R.K. Hill'sの一角にある靈南坂スカウトです。整えられたビルとその谷間でのスカウティングです。でも三十年私が同行したあの時代のスカウト達は実際によく自然を大切にしました。木一本切るに心をつかっていました。田辺教会の方々が「守る」「会でなく「大切にする」としめたのは守るという姿勢はどうしても争いが起るからといつてました。田辺教会の方々が大事にして下さるこの世界と人間を神が大事にして下さるこの世界と人間を私共を大事にしていくスカウトでありたいです。施設も不備、装備も不備、ないないづくりの三十年・四十年前のスカウト達でしたのが、とてもよく人と自然を大切にしていたことを想い起します。

第四号編集長 ダイナマイト小林
ここ数年、BSとGSが合同で催し物を計画することがめつきり少なくなった。一昔前はバスピクニックやソフトボーラー大会など様々な楽しい催し物がたくさんあった。なぜそのように企画が少なくなってしまったのであろうか。それはやはり計画を立て、実行する若い世代の人手不足により、おのずとBSとGSとの間に隔たりが生じた為ではないだろうか。シニア隊の集会中、そのような意見が出たのがスマイル復刊の発端となつた。

この間の四十周年の式典の時の事である。大変多くのOB・OGの方々が教会に来られた。その一人一人誰もが自分達の頃のスカウティングが一番素晴らしいとおっしゃっていたのがとても印象に残っている。(僕も今の我々のスカウティングが最高のものだと思っている。)そしてその言葉と共に靈南坂教会スカウトの四十年の歴史と伝統を感じた。僕は伝統と言うものは時の経過と共に移り行く物だと考えている。現在の我々のスカウティングも又これから後伝統の一つとなるものであろう。そしてその伝統は次世代、次々世代においては更に一段階飛躍するための土台となるだろう。しかし移り行く伝統の中にも、たった一つだけ不变の物がある事を我々は忘れてはな

らない。それは「常に自分にとつて最高のスカウティングをする。」である。靈南坂スカウト発足当時より現在に至るまでの唯一不变の伝統だけはかたくなに守られ続けていたのである。

ところで、現在のスカウティングに目を向けてみよう。前述のとおり両団合同の企画が少なくなつてきていている。僕はスマイルが今後も成長し続ける事を信じて疑わない。なぜならば人間は死と共に成長が停止するがスマイルとその根底に流れる精神とには死が存在しない。故にスマイルを土台とした両団合同の企画というのも近い未来に復活することであろう。ただ気になるのはGSに比べBSがあまりに活気が無いことである。何をしているのを見ても心より楽しないでいる様子が見られない。テレビ、ラジオを始め新聞、週刊紙等、余りにも多くのメディアの氾濫により自らが何かを見付けて出しそれを実行する楽しみが失われてしまっているのではないのだろうか。冒険とはテレビや映画の中だけの事ではない。自分で何かを求めそれを実行することも立派な冒険なのである。本来人間とはかくあるものではないのだろうか。

NEW FACEの声！

上進、ライアップおめでとうございま

す。今回のスマイルでは、新たな期待を胸にされているみなさんに、各部門ごとに、インタビューしてみました。

Q、初めての集会は、どうでしたか？

・キャンプとかに行けるから楽しみ。

・四十周年とかのパーティーがあるし、歌をうたうのもたのしい。

・みんなで輪になつて何かするのが楽しい。
・お菓子を食べれてうれしい。ブラウニー

Q、初めての集会は、どうでしたか？

友達は、思ったより少なかつたがボーキーのおにいさんたちは、とても親切で色々と遊び方も教えてくれたりして、楽しかった。前に引っ越してしまった親友がカブスカウトに入っていたので、もつと早くからぼくも入つていればよかつたな。 カブ隊

Q、ジュニアの集会の第一印象は？

初めてジュニアにライアップして、集会をやつた時は楽しかつたけど、クラフトやテントなどむずかしいことがいっぱいあつた。歌もたくさん習つて、おぼえきれないくらいだ。でも、今からキャンプがたのしみです。

ジュニア

Q、ボーイの集会の第一印象は？

今まで、ボーイの隊長は、こわい人かと思つていたけど本当はやさしい人だった。

集会で、とてもぎんちょうしてしまつが今になれて、しまうと思う。とにかく楽しもうやつていきたい。 ボーイ隊

Q、スカウト活動に望む事は、何ですか？

あまり厳しくなく、楽しい集会であると

いいです。皆で力をあわせて、協力しない

仲のよいシニアであるといわれるようになります。そのためには、上級生に早くとけこみ、力をつけ、負けないように努力すればいいと思います。 GS シニア

Q、スカウト活動に望む事は、何ですか？

ボーキーとは違つた活動内容に接し、新しい先輩の方々から、今まで体験してこなかつたことを学び、それをこれから活動に生かしていく、自分をひとまわり大きくしていきたいと思います。そして学んだことを後輩達に伝えたいです。 BS シニア

Q、スカウト活動に望む事は、何ですか？

後輩達に伝えたいです。 BS シニア

ビーバー隊のリーダーになつて
石井 道子・小野 俊夫

全員がわんぱく印のビーバーにかこまれて心配なことばかりです。キラキラかがやくビーバーのひとみに、引きつけられて一々に何か出来たらいいな、何かさがしてみたいなど私達リーダーは考えています。でもついたい大声でどなつてしまつます。

リーダーになつて

GS シニア 矢沢 直子

リーダー一年生の私に、他のリーダーと比べて勝てる事といったら、スカウト達に一番年齢が近い事だけです。これからリーダーとして活動していくにあたり、リーダーの技術を身につければならない事はもちろんですが、スカウトであつた頃の気持ちをいつまでも持つていてほしいと思います。

リーダーになつて

BS シニア 島村 寛

僕の場合、「リーダーになつて。」といふ原稿を書くにあたり、自分自身何かわだかまりみたいなものを感じました。僕は昔ボーキースカウト活動というものは嫌いでした。でもカブからローバーまで十年以上も続けています。何が僕をこうまでさせるのか、リーダーになつて考えたいと思います。

御協力、ありがとうございました。

四十周年に向かえて

——永遠のスカウトたち

一九四七年二月、マーチン・b・ウイリアムズ氏の手によって靈南坂教会に、東京第四隊ボーイスカウト、翌年一九四八年六月、東京第四団ガールスカウトが発足されました。当時の四団のボーイスカウトはいろいろな物資が不足していました。けれどスカウトたちの熱心なやる気というもので元気にスカウティングをしていました。そ

して、一九八七年、私たちのボーイスカウト、ガールスカウトは四十周年に向かえることになり、去る四月二十五日にスカウトの記念祝会、同二十九日には四十周年記念式典が行なわれました。今号のスマイルでは、その記念祝会と式典にスポットをあてて、御紹介いたしましょう。

* 記念祝会

四月二十五日にスカウト同士の間で祝会が行なわれました。これはまずBSとGSがいっしょになりさらによたて割りで五つのグループをつくりました。そしてそのグループごとでゲームを競つたりしました。あとはみんなで歌をうたつたりおどつたりで結構つかれたものもありましたがみなさんはどうでしたか？

又、リーダーたちによる寸劇があつて、

靈南坂のボーイスカウトの発足したときの様子などを知ることができました。

二時間という短い(?)時間ではありますでしたが、BSとGSが合同で、下の子から上の人までがいつしょになつて楽しめたというのと、そういう機会の少ない今、大変よいことだと思います。これから先、またそのような機会があつて、私たちみんながいつしょに楽しむことができたら、すばらしいことだとおもいます。

* 記念式典

そして四月二十九日には、BS・GS全体による記念礼拝、式典がありました。そこではOB・OGの方々が大勢いらして、以前お世話になつたリーダーの方々や、先輩の方たちもいらしてとてもなつかしかつたですね。さらに他の団のスカウトのみなさんや、来賓の方々などがいらっしゃいました。

そして全員が礼拝堂に集まつた午後一時半に、予定より十分遅れではありませんでした。最初に讃美歌を歌いましたが、鐘の音とともに、記念礼拝がはじまりました。最初に讃美歌を歌いましたが、あのパイオルガンを伴奏に歌を歌つたといふのは、とても迫力があつてなかなかの感動モノでした。あとは、お話しや、スカウトによる聖書朗読、お祈り、献金等で、本当に話しては、この四十周年の記念式典の

意義というものの等、日ごろあまり考えたことのないような事で、たいへん勉強になりました。私たちはこの高塚先生がお話を

じて下さつたことを常に頭の中に入れて、それをを目指して、スカウティングに励むべきだと思います。そういう意味でも、今回

のこの礼拝は、四十周年記念ということでの重みを感じただけでなく、ハッピ目が覚めたような気がしました。

内容的には、ごく普通のふだんと変わらないものでしたけれども、とても有意義な礼拝だったと思います。

プログラムの第一部として礼拝に引き続き、記念式典が行なわれました。

まず、ボーイスカウト世界スカウト旗が入場して順にボーイスカウト各隊旗、そしてガールスカウト世界連盟旗、四団の国旗が入場しました。そしてやくそく、ちかいを一同で言い、BS・GS各団委員長のあいさつ、それぞれの連盟歌の齊唱、そして来賓の方からは御祝辞をいただきました。

あと四十年の歩みのお話しがあり、最後は一同で団歌を齊唱し、BSのスカウト旗、隊旗、GSの連盟旗、団旗が退場して、記念式典は終わりました。(その後にOB・

OGの方々のみの祝会がありました。)以上であります。また十年後、今度は五十周年の時に、みなさんどのようになっているか楽しみですが、その時も、同じ顔ぶれで一緒に参加できたらいいですね。

二十九日の祝会では、たくさんのO.B.

OGの方々が出席されました。そこで、私たちスマイルスタッフでは、ほんの一部の方々だけでしたが、インタビューをさせて頂きました。

Q、四十周年の知らせをどのように思われましたか？

A、もう四十年たつてしまい、長く続いたきたなあとと思いました。

・四十年という年に大変びっくりしました。

・みんなが、まだ元気にがんばって

いるということで、とてもうれしくて、とんで来ました。

・親子二代に渡って、四十周年に参加出来、六十周年には、親子三代で参

加したいと思います。

Q、新しい教会をどう思われますか？

A、すばらしいので、びっくりしました。

・けれど、思い出ある鐘楼が、ないのが、ちょっと残念です。

・外から見るとやっぱり昔の方が、よかつたけれど、きれいだし、広くて今のもいいと思います。

・建て物は、すばらしいけれども、こ

の都会の中で、運動する場所が、限られてしまっていますね。スカウト

は、出来るだけ外へ出て、外で活動

した方が、いいと思います。

・みんなの力で作れたという事も、うれしいし、そこに集まるみなさん

が、このような場所を提供して頂いている事を忘れないで、活動して下さい。

Q、スカウト活動をしていた靈南坂教会をどのように思われていますか？

A、今も昔も変わらないで、みんな一生懸命に活動していく、うれしい。

・建て物が古かったので、おはけ屋敷みたいで面白かった。

・教会は、建て物だけではないけれども、今すでになくなってしまった所を歩くと色々と思い出されます。

この他に、現在スマイルを製作している

・私たち、スマイルの事について、色々とお話しをうかがつてみました。

Q、スマイルを作っているのですが、どう思われますか？

A、最近出ていなかつたので歓迎します。

・良い記念になるので続けて下さい。

・すばらしいと思います。今度ぜひ、拝見させて下さい。

Q、スマイルを作る目的は、何だと思いますか？

A、その頃は、スカウトの技術の向上が目的でした。

・スカウトが自由にやることが、目的だと思います。

・スカウト・リーダー・父兄の情報交換紙だと思います。

・OB・OGの人々にスカウト活動を知らせるためだと思います。

Q、私たちにアドバイスをお願いします

A、めんどうがらずに、コツコツとやって下さい。

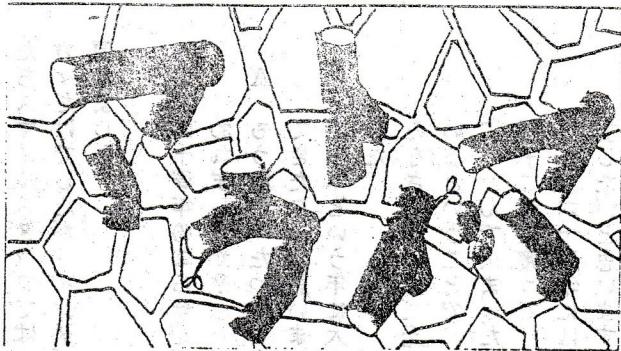
・前の形式にとらわれず、どんどん変えていって下さい。

・縦と横の関係をよく見渡しながら、作つていって下さい。

・歴史ある団体を名実あるものとして勉強し、製作してください。

四十周年を向かえて、私たちだけではなく、OB・OGの方々が、大変喜んで下さいました。そして、影で支えて下さっていました。その方々のアドバイスを忘れずに、これからも、靈南坂教会のスカウト活動を長く続けられるようがんばっていきましょう。

最後になりましたが、OB・OGの方々私たちの取材に応じて下さって、本当にありがとうございました。



第二回 テーマ

『救急法』物語風

救急法の意義

- ① 救助者との使命感を持つ
- ② 救助者が救助される側になりえないよう注意する。
- ③ 最終責任者に立ち入り。
- ④ 冷静な処置を二通りかける。
- ⑤ やむをえぬ場合以外、一人で処置を行わない。
- ⑥ 最後は必ず医師に引き継ぐ。

* 確実な応急処置は正しい知識と救急用品から成立します。
「立派なまつねに」という言葉を志めよう。

よしかず君とまさき君とかなちゃんとのりこちゃんの4人で、キャンプに行くことになりました。みんな野営キャンプは、5年目なので自信をもっていました。

まず、持ち物です。着がえや雨具、販合やねぶくろ、その他みんなでつかうものは分担してリュックサックに入れました。そしていつでもすぐ出せるように、横のポケットに救急用品を入れました。忘れ物はないか確かめたら、さあ出発です！

キャンプ場についた4人は、お昼ごはんを食べて、テントをはったり、ジャバラで食卓や調理台をつくりはじめました。

このコーナーも2回目をむかえることができました。

今回は、キャンプ前ということで『救急法』にテーマをしぼりました。

キャンプはお料理をしたりハイキングをしたり、特にキャンプファイヤーは楽しみのひとつですよね。でも、そのキャンプもちょっと油断すると、けがのもとです。けがや病気をしてしまったら楽しいはずのキャンプもそうではなくくなってしまうでしょう。

ではみなさん、けがや病気になってしまったらどうすればよいか、ならないためにはどうすればよいか、もう一度頭に入れて下さい。そして今年のキャンプはだれもけがや病気のないように気をつけて行きましょう。

本文：矢沢典子

解説：スネーク 杉原

登場人物紹介
のりこちゃん…本コーナーのホスト
スマイルの31歳
かなかん…実体は謎なつま
れています。

よしかずくん…立派なキタリスト
「〇〇君ほじかてよ～」
が口ぐせ。

ハンサムかとうかは鏡たけ
かみ、いは。

まさきくん…無口、どきどき
ハルン…錨乱す。音楽を
おとづれによく愛しなせか。
もみあげをのけす。

かしこい ハックインク・ABC



* 下には軽いもの、上には重いものをつめる。

→この部分に重心を持ててくる 😊

* 荷物のチェックリストを作る場合、収容場所別に書いておくと便利であへる。

* 救急用品や地図・コンパス・財布等は取り出しがやすいサックのサブホーカーなどに入れるべきであるが、サックに入れるかぎりは、一度サックを降ろさないかぎり取り出すことはできない。

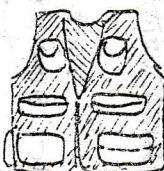
そこで、カリコイ人はウエストホーダー等を利用するのがある。

更に、もとアドバイスの牧童は図のようハーベストを

着用するのである。前面6つ
背面4つ、内面2つ、計12つの
ホーカーがついており。

救急用品・地図・コンパス・財布
はおろか、筆記具・めがね・カメラ等
と大変多くのものが収容できる。

マニュ地でできているから涼しいのである。
ドーナ、マイッタカ！



注意：日射病と熱射病のちがい

	日射病	熱射病
顔色	赤	青
息	荒	弱
発汗	なし	多汗がある
処置	頭を上げて体を冷やす	足を上げて体をあたためる
※ 両方とも予防が大事。過気性のない服・帽子を身に付け、とまどを大量に水分を取る。		

テントをたてていたのりこちゃんが、「頭がいたいよ」と言いました。日射病です。そこで、かなちゃんが言いました。「日射病の時は、涼しくて平らな所にねかせてあげるのよ。それから顔や頭を冷すの」まさき君とよしかず君はかなちゃんの言った通りにのりこちゃんにしてあげました。おかげで、しばらくするとのりこちゃんは元気になりました。

熱傷

軽度のヤケドの場合、右記のとおりで問題はない。ただし、ひどいヤケドの場合、次やした後、塩分、水分補給をすること。これは後にくるニヨク状態への対策である。また、衣類の上から熱湯をかけた場合、そのままこすりやす。(近くに川や池があれば、たぐいわす放り込む) ただし水牛など人にやらないこと) 後に衣類を切り脱げす。「モタタイ付」とか「親形見たナ」と言っている場合ではなし。
また、ヤケドをした個所は無菌ガーゼなどでカバーし、清潔に保つこと。

止血

止血法には右記の直接止血と呼ばれる方法以外に、止血点、止血帶による止血方法がある。
ハーミーのところでよくやくは書かれていた。
止血帶による止血だけはむやみにやらなれこと。これから、指先にケガをした者を手筋理にたすえ奉ること。又、指が4cm切れた場合でも急いで病院へ行けは、くつくなことがあることです。
ちなみに我が家BSミニ3隊では、伤口に3ロンアルフ等の接着剤を適切に止血する方法がされています。ナリとしみるがスク血がとまる。

4人のうち3人のけがありましたが、みんなすっかり治って帰る日がきました。4人とも「楽しかったね。けがしたけど、どうすればよいか知つてよかったです。また一緒にキャンプに行こう」と言いました。

おわり

テント食卓、調理台それからかまどなども完成しました。さてそろそろ夕食の準備をはじめることになりました。今日は、カレーライスです。と、いうことはまず飯合でお湯をわかしましょう。かまどの当番はまさき君です。まさき君は熱いけどがんばって火をまもっていました。「お湯がわいたみたいだよ」まさき君はそう言いながら、飯合のふたを開けました。「ギヤー」まさき君は自分のドジにおどろいていました。まさき君はさっき熱いので軍手をはずしたのをすっかり忘れてそのまま飯合のふたに手をつけてしまったのです。おどろいていてはいけません。まさき君のやけどの手当をしなくちゃ……「お水でひやすんだよ」よしかず君が教えてくれました。そしてそれにつけたすようにしてのりこちゃんが「流れてる水でやらなきゃダメよ」といいました。3人はまさき君の手当をしてあげました。

調理台でニンジンを切っていたかなちゃんが、「いたっ」といって飛びはねています。3人が「どうしたの?」とかなちゃんにきました。包丁で指をすこしきつちゃったのです。血が出てきました。4人ともあわてています。よしかず君が「まず心臓より高く手をあげなよ。それから、のりこちゃんは消毒してあげて絶対温めちゃだめだからね。」といったので、すぐかなちゃんにしてあげました。おかげでかなちゃんは、血がとまっておりました。

✿ この物語りは実在の人物、団体等にはちよとしか関係ありません。
尚、意見感想などありましたら
編集部までお寄せ下さい。
ファンシスター待てます。それではまた
おきやんよう。

山ノ上 善和

章を作るので苦労してしまいましたが、なんとか完成してホツとしています。表紙のデザインも完璧です。

梅沢 佳奈

今年度は、一年間の予算が決まっていて、その中でやりくりし、赤字にならないようにしなくてはなりません。お金が必要なところには、団委員会に報告書を提出します。団のお金を扱うので責任重大ですが、今年一年がんばります。

構成 加藤 美和

四十周年の祝賀会や、フライアップなどいろいろな行事があり、中味の濃いスマイルができたのではないかと思います。これからももっと積極的に仕事をしていきたいと思いますので、次回からまたよろしくお願いします。

連載 矢沢 典子

今回から私たちの代が主となつて、がんばつてやつて来たのですが、みんな忙しくてなかなか大変でした。「アウト・ドア」では、物語風にまとめてみましたが、いかがでしたでしょうか? キャンプにむけて救急法をもう一度見直してみて下さい。

表紙 大貫 千穂

前回に引き続き、今回もB・Pのことばを載せてみました。表紙の仕事をしてみたのは初めてですが、思っていた以上に、文

山ノ上 善和

代が替わってスタッフが少なくなつてしまつたが、とにかく編集長というのをやらせてもらつた。最初は上手くかみ合はず、いろいろ大変な事もあつたが、やつとここまできて良かつた。結局は先輩達に御世話をになりっぱなしになつたが、とにかくいけそうである。次号、御期待下さい!

編集人・山ノ上 善和

加藤 美和

メイン瀬崎 真生子
四十周年の祝賀会や、フライアップなどのいろいろな行事があり、中味の濃いスマイルができたのではないかと思います。これからももっと積極的に仕事をしていきたいと思いますので、次回からまたよろしくお願いします。

一九八七年七月十一日・発刊
復刊第五号

発行人・東京都港区赤坂一一十四一三
靈南坂教会内

梅沢 佳奈

G・Sレンジャー

構成 加藤 美和

構成という仕事は、今回全員で考え決定していきました。世代交代をして初めてのスマイル、色々な問題がありました。上の人との協力も得て、何とか仕上げることが出来ました。「大変だ。」が「よかったです。」になつて本当によかつたです。

編集後記 中川 末利

編集後記の担当は今回から「スマイルは語る」と「教会員のおはなし」が加えられました。けれどかなりの余裕でできたら自分では思っています。「スマイルは語る」ではこれからもどんどんみんなの考え方を表していくたい。協力していただいた高塚先生、ダイナマイト小林君、ありがとうございました。

協 力・城所	小林
杉原	有希男
齊藤	直明
矢沢	典子
大貫	千穂
瀬崎	真生子
中川	末利
輪笠	有子